

長野県(県民文化部)プレスリリース 令和7年(2025年)12月25日

長野県立歴史館 令和7年度冬季企画展

「靈場小菅～飯山の遺産と文化～」オープニングセレモニーを行います

長野県立歴史館では、令和7年度冬季企画展「靈場小菅～飯山の遺産と文化～」を開催します。

これに先立ち、オープニングセレモニーを行います。

1 オープニングセレモニー

- 日 時 令和8年1月9日(金) 15時から16時まで
- 会 場 長野県立歴史館 2階 企画展示室前
- 来 賓 飯山市長 江沢 岸生 氏 ほか

2 一般公開

- 開催期間 令和8年1月10日(土)から3月1日(日)まで
(休館日:月曜日、祝日の翌日、2月25日(水)～2月27日(金))
- 開館時間 9時から16時まで(入館は15時30分まで)
3月1日(日)から閉館17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料 企画展のみの場合:一般300円、大学生150円
(高校生以下又は18歳未満、県内に所在する大学の学生等は無料)
1月17日(土)は、企業協賛の日「KOAの日」で観覧無料

3 関連行事

- 講演会、ギャラリートークを開催します。
内容や日時の詳細は歴史館ホームページをご覧ください。<https://www.npmh.net/exhibition/>

展示の見どころ

「小菅の里及び小菅山の文化的景観」は、平成27年1月26日に、国の重要文化的景観に県内2例目として選定され、その文化的景観の保存と活用の取組が進められています。

小菅は、中世において、戸隠、飯綱と並ぶ北信濃の三大修験場としてその名を馳せ、国の重要文化財「小菅神社奥社本殿」といった建造物をはじめ、祭り、信仰に関わる美術品など、様々な文化財が現在まで伝え残されています。

本展示では、人々の日常的な暮らしの場と宗教空間が共存する景観や、その他、数多くの貴重な文化財を有する小菅を取り上げ、北信濃に残された靈場の様子を紹介します。

【主な展示資料】

- 県内最古とされる平安時代後期の「木造馬頭観音菩薩坐像」小菅神社蔵(県宝)
- 室町時代初期の「板絵著色観音三十三身図」小菅神社蔵(県宝)
- 「絹本着色両界曼荼羅図」菩提院蔵(県宝)

【問合せ先】

担当 県民文化部文化振興課文化財係 赤津、石原
電話 026-235-7382(直通)
026-232-0111(代表) 内線 3573
E-mail bunkazai@pref.nagano.lg.jp

【問合せ先】

担当 長野県立歴史館 総合情報課 水澤、飯島
電話 026-274-3991
FAX 026-274-3996
E-mail rekishikan-sogojoho@pref.nagano.lg.jp